

-(으)ㄹ 소지가 있다

～する恐れがある

悪い可能性を示します。-(으)ㄹ 여지가 있다 と形は同じですが、評価が正反対です。

■ つけ方

語幹	形	例
パッチムなし	-ㄹ 소지가 있다	오해하다 → 오해할 소지
パッチムあり	-을 소지가 있다	있다 → 있을 소지가 있다
よく使う語	오해・분쟁・혼란	望ましくない事態
名詞	의 소지	오해의 소지
近い形	-(으)ㄹ 우려가 있다	ほぼ同じ
分かち書き	소지 は名詞	오해할 소지가 있다

■ -(으)ㄹ 여지가 있다 とどう違うか

悪い可能性を示します。오해할 소지가 있는 표현입니다（誤解を招く恐れのある表現です）。

여지 とは評価が正反対です。여지 が「改善の余地」のようによい可能性を指すのに対し、소지 は誤解・紛争・混乱など望ましくない事態の可能性を指します。

-(으)ㄹ 우려가 있다 とほぼ同じです。どちらも「恐れがある」に当たり、報道や公式文書で使われます。

名詞と組んで 오해의 소지（誤解の余地）ともよく言います。

■ 例文

- 1 이 표현은 오해할 소지가 있습니다.
この表現は誤解を招く恐れがあります。
- 2 조항이 모호해 분쟁의 소지가 크다.
条項が曖昧で、紛争の余地が大きいです。
- 3 제도가 악용될 소지를 없애야 한다.
制度が悪用される余地をなくすべきです。
- 4 그 발언은 오해를 받을 소지가 충분하다.
その発言は誤解を受ける余地が十分にあります。
- 5 직접 만들 경우 품질 편차가 생길 소지가 있다.
自分で作る場合、品質のばらつきが生じる恐れがあります。
- 6 문제가 될 소지는 미리 정리해 두는 편이 낫습니다.
問題になりそうな余地は、あらかじめ整理しておくほうが良いです。

■ 紛らわしいもの

-(으)ㄹ 여지가 있다
よい可能性を示します。소지 は悪い可能性です。
개선할 여지（よい） / 오해할 소지（悪い）

-(으)ㄹ 우려가 있다
ほぼ同じ意味で「恐れがある」に当たります。
오해할 소지 / 오해할 우려

-(으)ㄹ지도 모른다
単純な可能性です。소지 は制度や表現の欠陥を指摘します。
오해할지도 몰라요（かも） / 오해할 소지가 있다（欠陥）

■ まちがえやすい点

- ✕ 개선할 소지가 있다
○ 개선할 여지가 있다
よい可能性には 여지 を使います。
- ✕ 오해할 소지가 있다
○ 오해할 소지가 있다
소지 は名詞なので分かち書きします。
- ✕ 친구야, 오해할 소지가 있어.
○ 친구야, 오해할 수도 있어.
日常会話では単純な言い方が自然です。